

～見る・学ぶ・働く・喜び合うことが大切～

農作業を通じて実感した 食べ物と、命の大切な関係。

9月19日は
食育の日

親子でいっしょに農作業を体験し、楽しみながら食や農について学ぶ、JAグループ福岡あぐりの会の『親子でチャレンジ!ファミリー農園』。今年は3つのJA(筑前あさくら、にじ、福岡豊樂)で実施。今回は去る8月29日にJA筑前あさくらで開催された、ファミリー農園(第2回目)取材。当日は15家族57名が参加し、JA筑前あさくら青年部の指導のもと、アスパラガスの収穫、ジャガイモの種イモ植え、大根の種蒔き、梨狩りなどを行いました。当日は、天候にも恵まれどの参加者もふだんは体験する機会が少ない農作業にチャレンジ!笑顔に包まれた親子のみなさんをレポートします。

※今年の「あぐりの会 農業体験」の募集は終了しました。



JA筑前あさくら青年部の皆さん



レポート①

私たちが口にする食べ物 その生産現場を知って感激!

「アスパラガスが育っているところを初めて見て感激しました」。そう話してくれたのは、山本さんファミリーのお父さん。ビニールハウスでは、お父さんの背丈ほどに伸びた大きなアスパラガス



春日市 山本さんファミリー

の親株にみんなびっくり。その根元から顔を出すお馴染みのアスパラガスを、小学4年生の紗愛さんと1年生の莉愛さんがハサミを使って丁寧に刈り採りました。「ビニールハウスの中は暑かったけど楽しかった!」と紗愛さんもうれしそう。「子どもたちには、何事も自分の五感で感じ取ってほしい」と考えるお母さん。「自分たちが口にするものがどのように出来るのかを、自分たちの目で見る事が出来るととても良い体験でした」と話してくれました。すべての農業体験を終えて、梨園でお弁当を楽しむ山本さんファミリーはみんなが笑顔でした。

レポート②

食べ物のありがたみを 子どもたちにも伝えていきたい。

小学5年生の祐輝さんと7歳の碧さんの親子4人で参加された古賀さんファミリー。今年2回目のファミリー農園への参加です。「子どもたちに農作業ができる過程と、食べ物のありがたみを教



福岡市早良区 古賀さんファミリー

えたいので機会があれば参加しています」と話してくれたお母さん。アスパラガスの収穫、ジャガイモの植え付けに祐輝さん碧さんも元気に挑戦!JA筑前あさくら青年部のお兄さんのアドバイスを受けて、一生懸命に取り組みました。梨園では、大きく実った梨を手にして碧さんもニコリ。「採れたてだからとっても美味しいんだ!」と大喜びです。「農業体験を通じて、子どもたちに自分たちの食べているものに関心を持ってほしい。それが食育の基本ですね」と話すお父さん。古賀さんファミリーの食育の教えは、しっかりと実を結んでいるようです。

レポート③

豊かな人間性を養うためにも、 食育の重要性を見つめてほしい。

健康な身体はもちろん、健全で豊かな人間性の育成に「食」は大きく関わっています。私たちはそうした食育の重要性を見すえ、10年以上も前から青年部主体により、様々なカタチで農業体験を開催してきました。今回の「あぐりの会」もその一環です。「土を耕し、種を蒔き、手間暇をかけて収穫に結びつける」という農業を自ら体験することで、食物の大切さ、自然の大切さ、そして何よりも命の大切さを実感してもらいたいと思います。併せて、地産地消にも関心を持っていただきたいです。古代ギリシャの哲学者・ソクラテスの言葉にあるように、人間にとって一番大事なものは「人の命を存続させる食料の供給」です。今回の「親子ファミリー農園」が、そうした食の重要性を見つめるきっかけになればいいと考えます。



JA筑前あさくら 代表理事組合長 上村 勝

広告 企画・制作/毎日新聞西部本社広告局



..... 地域に根ざした
食育コンクール2009募集
応募締切 平成21年11月13日(金)必着

☆家庭・学校・地域で実践する健全な食生活、食農教育、食の安全、安心等についての取り組みをどしどし応募してください。詳しくは、電話かホームページでどうぞ。

応募書類送付先 〒810-0001 福岡市中央区天神4丁目10-12 JA福岡中央会
「福岡食育コンクール2009係」 TEL.092-711-3911/FAX.092-724-1218
ホームページ <http://www.jagr.org/> アグリふくおか 検索

